

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	<input checked="" type="radio"/> 安全 <input type="radio"/> 防災 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input type="radio"/> ICT <input type="radio"/> 品質 （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	KTBスーパーメタルフレーム工法	担当部署	九州支部
NETIS登録番号	KT-000115-V	担当者	有水 弘行
社名等	KTB協会・PCフレーム	電話番号	092-725-7889
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工法は斜面安定用受圧板として、鋼製フレームを使用した法枠アンカー工法で、従来は現場打コンクリート2次製品や受圧板で対応していた。本工法により受圧板の軽量化、施工性の向上、自然との調和した景観を考慮した形状が期待できる。 ・本材は、亜鉛・アルミニウム容射を施した鋼板フレームで完全防錆され優れた耐久性・耐候性を発揮します。中空密閉型で極めて軽量（コンクリート受圧板の1/6）です。 ・角度調整台座により現場で自在に角度調整ができます。軽量で大型重機を必要とせず、耐久性に優れ、製品コストも施工コストも大幅に縮減できます。 <p>2. 技術の内容</p> <p>①何について何をする技術なのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斜面安定用受圧板として、鋼製フレームを使用した法枠・受圧板アンカー工法 <p>②従来はどのような技術で対応していたのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来、現場打コンクリート法枠やコンクリート2次製品の法枠（プレキャストコンクリート製フレーム）が主流であった。 <p>③公共工事のどこに適用しますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斜面や崖面の斜面崩壊や地すべり防止のための受圧板アンカー工法 ・擁壁保護のための受圧板アンカー工法 <p>3. 技術の効果</p> <p>①どこに新規性があるのか？（従来技術として何を改善したか？）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材をコンクリートから鋼製にした。 ・コンクリート1色から、多彩な色調になった。 <p>②期待される効果は？（新技術のメリットは何か？）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受圧板の軽量化（コンクリート2次製品と比較し1/5～1/6） ・施工性の向上（軽量化により） <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>条件</p> <p>①自然条件：スーパーメタルフレームが取り付け可能な事</p> <p>②現場条件：受圧板設置面が平らに整形できる</p> <p>③技術提供可能地：技術提供地域については制限無し</p> <p>④関係法令等：労働安全衛生法</p> <p>⑤特に効果の高い適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地山切取り時にすぐにアンカー力を導入できる現場（逆巻き施工） ・高地で作業する現場（軽量のため） <p>⑥適用できない範囲：オーバーハングのり面等、受圧板設置面が平らに整形できない場所</p> <p>適用にあたり、関係する基準および引用元 グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（地盤工学会）平成24年5月31日第1刷・全項目）/グラウンドアンカー施工のための手引書（日本アンカー協会）平成18年6月1日刷・全項目・/KTB スーパーメタルフレームアンカー工法設計・施工の手引き（平成23年8月）</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 177件（九州 12件、九州以外 165件） 自治体 1148件（九州 83件、九州以外 1065件） H26.3月現在 民間 23件（九州 8件、九州以外 15件）</p>		

6. 写真・図・表

亜鉛・アルミニウム溶射を施した鋼板フレームで完全防錆され、優れた耐久性・耐候性を発揮します。中空密閉型で極めて軽量(コンクリート受圧板の約1/6)です。角度調整台座により現場で自在に角度調整ができます。



スーパーメタルフレームアンカー工法